

## Recherche 91912 キュイキュイフーディ仕様書

布帛用

パターンパーツ数 7

シームポケット有り

～付属品～

接着芯

平ゴム

留め具

		80	90	100	110	120	130	140	150
着丈		47	49	51	54	57.5	61	65	69
肩巾		24	25	26.5	28	30	32	34	36
バスト		74.5	76.5	79.5	82.5	86	90	94.5	99.5
袖丈（長袖）		30	34	38	41.5	45.5	49	53	58
用尺	110巾	160	165	185	195	210	230	245	265
	140巾	155	160	165	175	180	185	190	200

用尺はあくまでも目安です。

生地の有効巾・地直し・粗裁ちパーツ等によって変わりますのでご注意ください。

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。

いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

## ■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1～2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略している箇所があります。

■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものと異なりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

※以下の「裁断・接着芯」「ノッチ(切り仕付け)」は平行して作業します。

## 裁断・接着芯

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

生地に合った接着芯を貼ります。

接着芯を貼るパーツ「フード口(着用時裏側になる方)」は少し大きめに粗裁ちします。  
(※接着芯を貼ると生地が縮む為、接着後に裁ち直します。)

粗裁ちしたパーツをパターン通りに裁断します。

「ポケット口」の接着芯はポケット口より 1～2センチ長く貼ります。(パターン上に指示有り)

※「前身頃」のフード口との接ぎ線の角の芯を忘れずに貼ります。

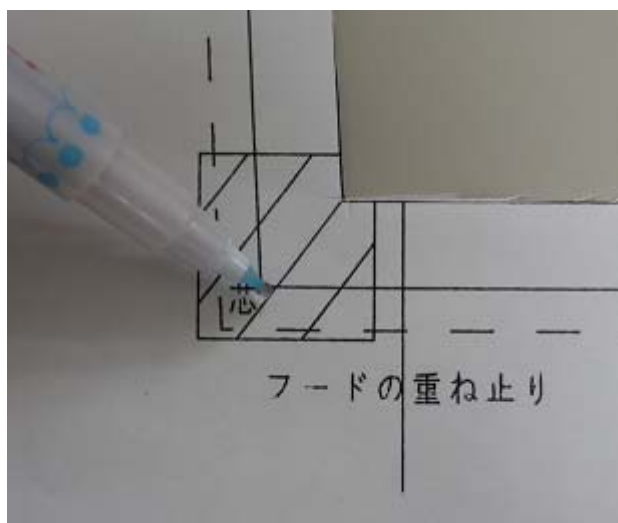
※ハトメもしくは紐通し口を設ける場合も該当箇所に貼ります。

## ノッチ(合印)を入れます

※ ノッチ(合印)とは、縫い代に 0.3 cm 程度の切り込みを入れることです。

※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。



「前身頃」のフード口接ぎ線の角にチャコペンで印を付けます。

※フード口側にも同様に印を付けます。

### ハトメ・紐通し口

フードや裾に紐・リボンを通す場合は、ハトメや紐通し口を開けます。

※本仕様書では省略しています。

### 空ロックをかけます

3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「SL」「前・後身頃脇」「袖底」「袖口」にかけます。



## フード

「フード中央」と「フード脇」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



「フード脇の縫い代」を5mm巾に切り揃えます。



「フード中央の縫い代」で「フード脇の縫い代」を包み、フード脇側に倒し、コバステッチをかけます。

「フード口」二枚を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。  
カーブに切り込みを入れ(急なところは多めに)、角を切り落とします。



アイロンで縫い代を出来上がり線に折ります。  
※厚紙を当てると綺麗に折れます。



表に反しステッチをかけます。

「フード」と「フード口（着用時に表側になる方）」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代をアイロンでフード口側に折ります。



アイロンで「フード口（内側）」の縫い代を出来上がり線で折ります。

※この後、表からステッチをかけますが、縫い落としやズレが心配な場合は、しつけをするか、接着テープ等で固定します。





表側からステッチをかけます。



重ねの合印を合わせ、縫い代側を仮留めします。

※打ち合わせは状況に合わせて変えます。

### SL

「前身頃」と「後身頃」を**中表**に重ね、SL の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせ、縫い代をアイロンで割ります。





### 身頃+フード

「身頃」と「フード」を中表に重ねます。

(裏返したフードの中に表に反した身頃を入れ込みます。※下画像)



まち針で留めます。



出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

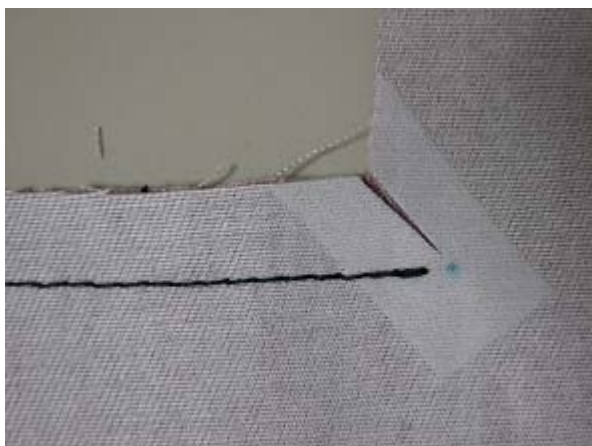
※身頃を上にし、一周縫い合わせます。

～角の縫い方は次ページ～



～角の縫い方～

P3 で付けた印の一針手前まで切り込みを入れます。



印の一針手前まで縫い、返し縫いをして糸を切ります。



切り込みを開き、一針分空けて縫い始めます。  
※返し縫いを忘れずに





縫い代を 1 mm 切り落としながら 5 mm 巾の  
空ロックをかけます。



縫い代を身頃側に倒し、表側からステッチをかけ  
ます。

### 身頃脇・ポケット

「前身頃」と「後身頃」を **中表** に重ね、ポケット口を避けて出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

裾を割る場合は明き止りで縫い止めます。

Recherche 仕様書ページの部分縫い「シームポケット」を参考に、ポケットを付けます。

部分縫い「シームポケット」URL <http://www.recherche.ne.jp/recherche001.pdf>

### 袖

袖口の出来上がり線をアイロンで折っておきます。



印～SP、SP～印にぐし縫いをします。

※それぞれ始まりと終わりは玉留めをします。



指定の寸法分を縮めます。  
※パターン上に指示有り



「袖」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせ、アイロンで縫い代を割ります。

※袖馬の代わりに麵棒やラップの芯等も使えます。

「袖」を表に返します。



袖口にステッチをかけます。

～平ゴムを入れる場合～

平ゴムを輪にし、直線ミシンで縫い留めます。

輪にした平ゴムを袖口に通し、出来上がり線で折り返し、ステッチをかけます。

ぐし縫いした部分をアイロンでギャザーがよらないように抑え、馴染ませます。



※左画像ではタオルを丸め、ガーゼで包み、仕上げ馬代わりにしています。

#### 袖(半袖ダブルステッチゴム入り)

「袖口」の出来上がり線をアイロンで折り、指定の巾で一本目のステッチをかけます。

輪にした平ゴムを通し、指定の巾で二本目のステッチをかけます。

※袖山のいせ込みは前出の袖と同様に

#### 身頃+袖

「身頃」と「袖」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

※裏返した身頃の中に袖を入れ込み、まち針で留め、覗き込むように縫い進めます。

縫い後、ぐし縫いの糸を抜き、縫い代を **1 mm**切り落としながら **5 mm**巾の**空ロック**をかけます。



## 裾

「裾」の縫い代を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。

～脇を割る場合～

コの地のステッチをかけます。

裾の出来上がり線をアイロンで折ります。

ステッチをかけます。



～平ゴムもしくはハトメ使用の場合～



出来上がり線をアイロンで折り、ステッチをかけます。

## その他

ボタンやスナップを付け、紐を通します。

----- 完成 -----